かわべ

発行
河辺村公民館
編集
館報編集委員会
☎ 河辺 17番
佐川印刷KK
吉田町北小路 ☎2－0600

河辺村人口動態

（S.52.12月1日現）

世帯数	618
人口	2,308
男子	1,157
女子	1,151

（S.50.10国調）

世帯数	666
人口	2,368

（S.45.10国調）

世帯数	718
人口	2,810

花木の展示即売会に人気

第2回村民文化祭おわる

十一月四日～五日の二日間、このほど新築したばかりの施設─特殊林産物集出荷場において、第二回村民文化祭が開かれ、期間中延七〇〇人の人々が訪れてにぎわいました。

今年度は農業協同組合と森林組合にも呼びかけたところ、それぞれ趣向をこらしたコーナーを設けて、しいたけ生産相談コーナーや花木・農業・林業機具の展示即売などがおこなわれて人気を集め、他の展示コーナーでも菊花・盆栽・書道・絵画・老人趣味の作品・くらしの知恵工夫などの作品がせいぞろいして人々の目を楽しませました。

また、アトラクションとしておこなわれた婦人会のバザーが大盛況で、会員も汗だくでうれしい悲鳴をあげる光景もみられました。

五日、午後三時には審査のあった菊花・盆栽・書道・絵画の表彰式がおこなわれ、審査結果は次のとおりです。

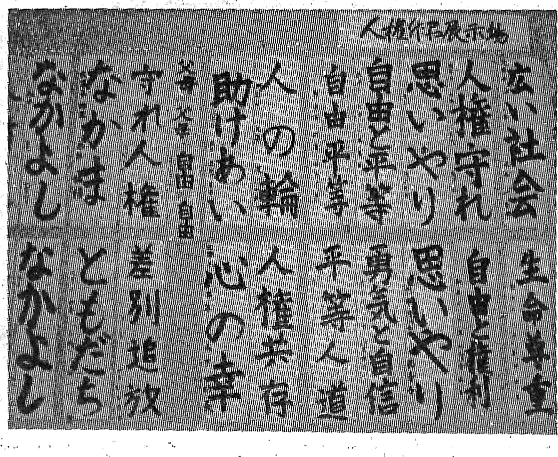
○**盆栽展**（出品数二二点）
金賞─運勢義弘
銀賞─植木喜佐男
銅賞─梅木広信・大見　明
佳作─熊野政六・大野哲夫

○**菊花展**（出品数六〇点）
金賞─上田文子
銀賞─向井蔦子・神山恵美子・塚野キヨ子
銅賞─渡辺ミスエ・藤岡秀男・田中イシヨ・久保久栄・
佳作─藤田ミツヨ・大元朝子・清水マサ子・清水フサ子・山岡スミエ

○**書道展**（出品数一〇一点）
○**絵画展**（〃　〃五二点）
○**老人趣味の作品展**（〃二七点）
○**くらしの知恵工夫**（〃三六点）

人権モデル地区 書道展示もおこなわれる

人権作品展示が村民文化祭の会場で行われ、各小学生の半切・半紙の優秀作品約七〇点を展示し、審査の先生方も優劣つけがたく首をひねっておられました。審査結果は次のとおりです。



○連合会長賞─
六年　谷本千景
四年　山崎潤一
○法務局長賞─
六年　西　幸子
〃　加茂美津穂
○協議会長賞─
五年　山下幼美
六年　新田由美
○村長賞─
六年　石井美香
四年　石井綾佳
三年　久保雅樹
○教育長賞
─三年　渡辺真由美
─五年　梅木純哉
─六年　山本章仁
─〃　崎野恵美子
─〃　本山健勝
─〃　渡辺敏恵

国営総合農地開発事業 いよいよ着工!!

待望の国営総合農地開発事業が本年度より着工の運びとなり、河辺中部支線の道路新設工事に着手しその現地において去る十月二十日起式典を行いました。

この事業は、大洲市と喜多郡内子町、五十崎町、河辺村の一市三町村の開発可能地約一、三七〇haを対象として約一、〇一〇haの農地を造成するとともに、畑地かんがい施設を整備します。

本村の事業計画は別表のとおりですが、造成五六、二ha及び附帯工事として新設道路一八、九四〇mで七ヶ年で全事業が完成する計画です。

愛媛県は全国的にも農業の地位は非常に高く、特に本村は今後も第一次産業地帯として持続するものと思われますが、現状での地形は山間地帯でもっとも複雑な急傾斜地で、耕作的条件もきびしく農家経営規模は〇、五六haと零細であり、又急傾斜耕地のために労働生産性は低く農業所得は年々低下しています。この現状での第一次産業の振興は、既耕地の整備と規模拡大および主産地形成を図り流通施設の整備が基本であります。

その整備手段として、本農地開発事業は林地を造成して主産地形成を行ない、企業的経営農家の育成と地域経済の発展を図ることを目的としているものであり、国営事業に対して村民各位の格段のご指導とご協力をいただきますようお願いいたします。

国営総合農地開発事業（農地造成）

番号	団地名	受益面積	事業量	参加戸数	施工年度	備考
1	植松	11.7ha	15.8ha	17	53～54	測量設計実施
2	大成No.4	1.4	1.9	2	〃	
3	〃 No.3	1.1	1.5	3	〃	
4	〃 No.2	2.4	3.3	6	55	
5	〃 No.1	0.9	1.2	1	〃	
6	三久保No.1	9.4	12.9	14	55～56	
7	〃 No.2	1.0	1.4	3	〃	
8	〃 No.3	1.2	1.7	3	〃	
9	〃 No.4	1.5	2.0	1	〃	
10	〃 No.5	2.9	4.0	6	〃	
11	日除No.1	3.9	5.4	3	57	
12	〃 No.2	3.7	5.1	4	〃	
計	12	41.1	56.2	63		

（附帯工事）

番号	路線名	受益面積	事業量	施工年度	備考
1	河辺中部支線	10.1ha	3,930m	52～55	工事実施
2	〃 北部支線	13.0	6,000	55～57	
3	竹成	2.0	900	54	
4	下大成	3.0	830	〃	
5	中大成	2.4	1,660	55	
6	三久保	2.0	2,000	56	
7	宮谷	1.0	2,440	〃	
8	日除1号	3.9	340	57	
9	〃 2号	3.7	840	〃	
計	9	41.1	18,940		

（畑地かんがい事業）

番号	路線名	受益面積	事業量	施工年度	備考
1	植松～大成No.4	(13.1)	(17.7)	57	かんがい用水
2	大成No.3～日除No.2	(28.0)	(38.5)	58	〃

新成人者の該当について

来年一月二日の成人式該当者は、S三十三年一月一日～三十三年十二月三十一日までに生まれ、住民台帳に登録されている人です。

次の方々は、九月一日現在で住民台帳より調べたものですが、その後に転入された方や、出席希望の方がありましたら、**公民館（TEL十七番）**へご連絡ください。

◎成人式には簡素な服装で出席しましょう！

山鳥坂　宮下美智子・森川法雄
橡谷　宮岡昭広
植松　智葉園江・大野信二
　冨永茂子・松本順子
　植木美一
日の平　船田真一
宮谷　船田辰雄・有友千鶴
　竹林明栄
百合谷　河野　薫
稲谷　佐久間誠司
名場連　吉野尚美・西岡サキ子
　織本速人
大中山　梅木百年
中居　松尾孝志・山本　優
竹ノ瀬　佐伯まり子
栄　中野史子
神納　大野一登・幸田友叙
天神　山岡幸恵
国木　幸田真喜恵
長崎　井上　徹
榎　栄野恵喜子
用の山　栄野文男
（以上二十九名）

冨永政男氏が銀・銅メダルを確得

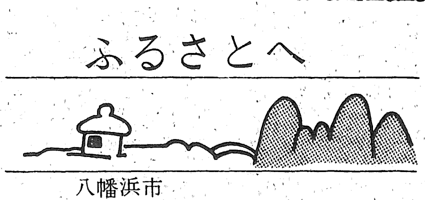
─全国身体障害者スポーツ大会─

去る十月十五～十六日の二日間、青森県総合運動場において「広げよう愛の輪・夢の輪・力の輪」をスローガンに、第十三回全国身体障害者スポーツ大会が開催されました。

本村からも県大会において上位入賞された、冨永政男氏（郵便局勤務）が愛媛県選手団十二名と共に大会へ出場、冨永氏は二種目に出場して、立巾跳び（銀メダル）と砲丸投げ（銅メダル）と輝やかしい成績を修められました。

ご本人はもちろん、村の名誉でもあり村民の皆様と共におよろこび申し上げます。

ふるさとへ



八幡浜市
大久保　定光

冷夏暖冬などと四季のかわりもめまぐるしい昨今、河辺の皆様ご健勝でお過しですか。このたびふるさとの想い出をといわれ、毎年春夏と墓参りに帰省していた私に、幼き日を過した竹の瀬のある橋、この道、鴨谷の今はなき一本杉、あの人の顔、あの友の声と出郷以来五〇年の歳月が走馬灯のように胸中をかけめぐりなつかしく思い出されました。

『ふるさと』この言葉はいつ聞いてもよきもの。私ども離村者にとっては母の胸に抱かれし頃を思い出す心温まるひびきがあります。

私が村を出たのは一〇代の頃、親の希望で大工の見習い、菓子屋の職人とやってみましたが性に合わず、当時警察署長（毛利盛義氏）をみて警察官にと志望したのですが署長になる自信がなければやめろと言われ、その頃花形的存在の運転手にと考えを変え民間会社にて助手時代を過ごし免許をとり、昭和十六年国鉄へ入社。戦中戦後の苦しい時代にはガソリンがなく木炭車を走らし、寒い時などエンジンがかからず、こごえる手に熱い息をふきかけく作業をしたものです。その国鉄も四十五年に創意工夫功労者として大臣表彰の栄誉をうけ、三〇年の国鉄マンとして最後の花を咲かせ四十七年に定年退職。現在自動車検査員として松林モータースに再度の就職をして頑張っています。

戦後三〇年日本の経済も大きく変り高度成長の波にのって著しく発展してきましたが、石油ショック以来不況の風は長く冷く庶民の生活をおびやかしています。この不安定な情勢の時こそせめて健康でと願うのが人の心です。

医学も日進月歩の驚くべき発達をとげていますが、それと共に薬害の事故も数多くあり、転ばぬ先の杖として健康管理は自分の手でとはじめたのが『生命の貯蓄体操』です。本部は松山にあり、私は大洲支部長として四十七年に支部を結成。会員ものべ千名をこえ道場も十七ヶ所あり、毎夕七時半より各道場へ指導に行っています。会員より「元気になった」「病気を忘れた」と笑顔で語りかけられる時、この体操をはじめてよかったとしみじみ感じます。

河辺の皆様にもぜひ普及して、より元気に、より幸せな人生をおくっていただきたいと願っています。健康こそ人生の基、健康にまさる宝なしです。体操を通じ仲間がふえ、全国に知人ができて悔いなき老後をおくれると喜んでいます。

青雲の志を抱いて村を出て五〇年、右余曲折はありましたが私なりに幸せな人生です。喜びにつけ悲しみにつけ思い出すふるさと、いつでも『そこにふるさとがある』そう思うからこそ安心して暮らせるのです。

河辺村の今後の繁栄と村民の皆様のご健康ご多幸をお祈り申し上げます。

やねばし

私と酒の出合いは少しふざけており、あれから四十年経った今でも、時折思い出して冷汗したり、時には独り北叟笑むこともある。

昭和十四年、戦争は始まっていたが、村境の峠の茶屋には、独り者の老婆が、手造りのまんじゅうや、酒・駄菓子を並べ、夜の山路に備えて提灯などを売っていた。この峠の茶屋からは私たちの村が山ひだに見えかくれ、遠く大野ヶ原が望めたし、反対側の眼下には、小学校の建物を中心に隣の村が町がかった形で、箱庭のように見おろせ、遙か神南山麓に広がる町や田圃を流れる小田川が、初夏を迎えようとする一面緑の中に一すじ白くキラキラ光って美しかった。

E君と私は小学校の高等科二年（十四才）になったばかりで、九州方面への修学旅行出発の朝であった。E君と私は四キロばかりの山路を登って、この峠の茶屋で、校長先生や担任の先生の引率で別の山路を登ってくるクラスの一行を待つことになっていた。

仲よしのE君と私は、古ぼけた茶屋の柱時計を見上げて、嬉しさにそわそわと落着けなかった。

そうした心のはずみがあった故か、どちらからともなく酒を飲んでみることになり、E君があさん一杯ついでや」とまことに堂に入った注文をしたので私は可笑しかったが、老婆は無表情のままで一合の酒を五勺コップ二つに注いでくれた。屠蘇以外飲んだことのない二人であったが、格別酔ったようになかったのは天の助けであった。コップに溢れる酒はまことに複雑な味であったが、E君と私だけの秘密であり、冒険の酒であるし、二人は慌てて飲んだ。

やがて登ってきた一行の列に加わり、くだる晩春の峠路の滴る緑に混じる赤い山つつじと、町をゆく汽車の汽笛が印象に残っている。

（T）

あすの農作業

今年の稲作・栗の収穫を見てみますと八月頃の収穫予想に比べ収量・品質共に低下していたのではないでしょうか。

この原因を考えてみますと、水稲では前半の葉イモチ病・モンガレ病の発生と後半の秋ウンカ・登熟期のひでりが考えられます。又、栗では六月の男性的な降雨による受精不良と七・八月のひべりによる一つ栗の発生、アカイラガ・イガアブラムシ・虫グリの発生、肥料不足による樹勢低下等があげられると思います。

以上の事について来年への対策を考えて見ますと、次の様な事が考えられますので今後失敗のないよう注意してください。

一、水稲

(1) 葉イモチ病対策として考えられるのは稲ワラの還元・堆肥・ケイカル施用による土作りと適切な水管理による健全な根作りに努力すれば、防除回数を減しても発生は少くなると思います。

(2) モンガレ病が最近多くなって来ている原因は早期田植による過剰分けつが考えられますので、二・四・Dによる過剰分けつ抑制を考えないと予防できないと思います。

(3) 秋ウンカ対策としては発生初期の予防（八月下旬と九月上旬の二回）の徹底しか考えられません。

二、栗（収量の安定対策）

収量＝結果母枝数×結果母枝当り着毬数×一毬当り果実重

(1) 結果母枝数の増加対策としては間伐しか考えられません。密植園を放置していますと一樹当りの着毬数は五年生で百五十から二百毬、八年生で九十毬から二百毬、十年生以上では五十毬と七年生頃から減って来ますが、間伐をすると十年生でも千個結毬してくれます。

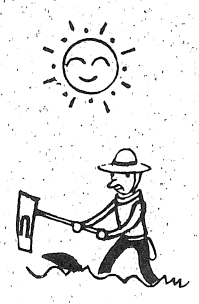
(2) 一結果母枝当り着毬数の増加対策としては、秋肥（八月下旬施用）の施用が一番効果があります。秋肥を施用をしないと一結果母枝当りの着毬数は〇・七個程度ですが、秋肥を施用することによって一・三個程度まで増加させることができます。

(3) 一毬当り果実重の増加対策としては、樹勢を良くすることが考えられ適切な施肥（春肥・夏肥）と病害虫の防除が大切です。

なかでも今年は、葉を食害するアカイラガとイガを食害するイガアブラムシが大発生しました。この二つの虫は来年もかなりの被害を出すと考えられますので、六月下旬から七月上旬の発生期には充分な注意が必要です。

以上の事が来年への対策と考えられますので、冬の間から充分な対策を立て、今年の様に予想よりも収量・品質が低下しないよう努力してください。

大洲農業改良普及所



酒豪も生ぬるいビールには苦戦の様子

大伍分館が3年連続優勝

第13回村民運動会

恒例の村民運動会は十月九日、河辺中学校グランドで盛大に開催されました。

例年は十日「体育の日」に実施していましたが、今年度は九日に実施、快晴の運動会日和で約八百人の村民が集まり、前年度優勝の大伍分館より優勝旗返還、選手宣誓に続き競技開始、対抗種目に入ると一段と熱が入り、歓声がこだましていました。

昨年度より運営方法を変え、準備から当日の進行、終了後の片づけに至るまで各分館が主体となって運営しており、また村内の健設業者にはマイクロバスを提供してもらい、選手や老人の輸送にあたるなどのご協力をいただきました。年々、村民総参加の運動会となりつつあり、内容の充実したものになってきたようです。

○図画の部

中学校の部

◎二、〇〇〇m

大野吏佳・土居治美

一位　本山純主　六分五二秒

◎八〇〇m

一位　本山純主二分二五秒二

～へき地校のそん色なしと好評～

県へき地教育研究大会終る

去る十月十七、十八の両日、愛媛県教育委員会外四団体の主催による、愛媛県へき地教育研究大会が、すでにへき地教育研究校として文部省の指定を受けている北平小学校、並びに県指定の河辺中学校を部会場として開催された。

当日県教委はもとより関係団体、県下へき地小・中学校の先生方数百人が、ようやく色づき初めた谿谷をぬって両校に参集され、終日熱のこもった研究がなされた。

中心となる公開授業では、小・中ともに二ケ年にわたる実践研究が実を結んで、先生方の自信に満ちた優れた指導ぶりと共に、多くの参会者を意識しない伸びくとした子供達の成長の姿が深い印象を与え、特に本村で唯一の複式学級をもつ北平小など、廊下に溢れる盛況を見せ、河辺の教育には、都市に比べて、へき地の格差が見られないとの讃辞まで受け、喜ばしい希望を将来に託して有意義な初日の幕を閉じた。

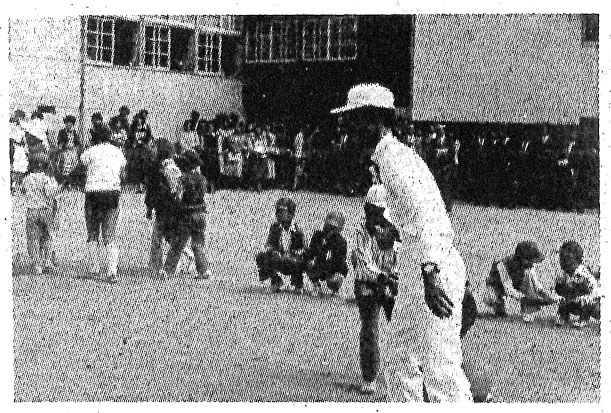
翌十八日、更に多数の参会者を加えて、大洲市喜多小学校で大会を締めくくる全体会がもたれ、文字どおり有終の美を飾ったが、当日、県下数百の小・中学校のうちから当村では次の皆さんが優良児童・生徒として表彰された。

坂本小学校　六年　五頭美佐枝
河辺少学校　六年　谷本　寿幸
北平小学校　六年　加茂美津穂
河辺中学校　三年　安部小百合

なお当日行なわれた作品展にも次の皆さんが、それぞれ優秀な成績で入賞を果した。

○書道の部

金賞　北平小六年　本山　健勝
銅賞　河辺中三年　石井　美江
佳作　河辺中三年　藤田　英司
銅賞　河辺中二年　吉野　千草
佳作　北平小四年　竹本　幸男



北平小学校の公開授業風景

郡内小中学校陸上競技

河辺小学校が好成績かざる

去る十月二十六日、内子中学校において喜多郡小中学校陸上競技が催され、すばらしい成績をおさめました。成績は次のとおり。

◎六〇m

一位　山本章仁（北平小）
二位　織本美智子（河辺小）
三位　井本　学（河辺小）

◎四〇〇mリレー

三位　井本　学・谷本寿幸
松井英樹・大野真弘

女子の部

◎一〇〇m

二位　織本美智子（河辺小）

◎六〇mハードル

一位　大野吏佳（河辺小）

◎走り幅とび

二位　大野吏佳（河辺小）
四位　土居治美（河辺小）

◎走り高とび

一位　土居治美（河辺小）

◎四〇〇mリレー

三位　織本美智子・西　幸子
四位　松井英樹（河辺小）

◎一〇〇m

三位　井本　学（河辺小）

◎走り幅とび

二位　谷本寿幸（河辺小）

◎走り高とび

四位　谷本寿幸（河辺小）

◎ソフトボール投げ

一位　

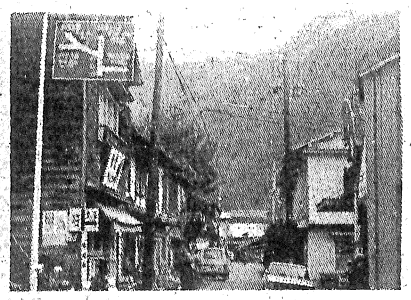
ご寄附お礼

このたび稲田三温氏の御芳志により、下記写真のりっぱな道標ができあがりました。

これは去る八月十三日、稲田氏の令息が自動車事故でケガをされた際、数多くの方々からお見舞をいただいたお礼として「村の交通安全に活用して欲しい。」とご寄附をいただいたものです。

今後、この道標は河辺村を訪ねられる方々に、交通安全の願いをこめて、あたたかく本村の道案内をしてくれることでしょう。

紙上より厚くお礼申し上げます。



私にとって「おかあさん」と言うと最初に頭に浮かんでくるのは何でしょうか。私たちを優しく見つめてくれるあのマリア様のような澄んだまなざしか。それとも仕事をするたびにガサガサと荒れてゆく大きな手か。いや、あの暖かいすいこまれるような胸かもしれない。

私はおかあさんの荒れた手を頬にあてるたびに、今までの十五年間の長い苦労に感謝すると共に、これからは少しでもおかあさんのために何かしてあげたい、いや、どうしてもしなければならないんだという気持ちが、胸いっぱいにこみあげてくる。

おかあさんはおとうさんよりはるかに私の気持ちをよく理解してくれます。だから何でも相談にのってくれるし、気軽く接触できる。

おかあさんは私にとって永久の存在であり、また私はおかあさんなしでは一人立ちできないようだ。

私は三人兄弟の末っ子である。しかも母乳ですくすくと育ちました。今でも甘えんぼですが、いちばん最後までおかあさんのおっぱいにすがりついていたそうです。

おかあさんのあのガサガサの手は何をあらわしているのでしょうか。それは私たち子供と、おかあさん自身だけにしかわからないことなのだろうと思います。

おかあさんの

あの明るさは、ほのぼのとした太陽

あの悲しさは、つめたいみぞれ

あの優しさは、いとしきかすみ草。

そしておかあさんは、私の故郷でもあります。

故郷とは、私たちにゆとりと、優しさと、あたたかさを感じさせてくれます。おかあさんのあの胸だって、やすらぎを私たちにそっとたくしてくれます。

私たちが何処にいようと、おかあさんは私たちのふるさとだ。この世に生きているかぎり、いつでも迎え入れてくれる私のふるさとだ。

こんなことをいつまでも胸に思い私は歩みつづけたい。そして今度は私がおかあさんの故郷になって力になってあげたい、と思います。

お母さんは私のふるさと

河辺中3年　篠原寿恵

文芸

短歌

秋晴れのさわやかな風吹き入れて
水屋の棚を拭き清めおり　関井　恵美子

かなしみを幾度か写せし手鏡の
はや秋と思う濃い色なり　中本文江

久なれど恵みの雨も少なくて
もみじのあしたに霧立ちのぼる
紅葉の石鎚麓御来迎の滝
面河道より白く音なし　角藤　政千代

俳句

返り咲くピンクのさつき一花かな
菊薫る山村振興文化祭

消息

（出生）おめでとうございます。
植松　父　磯若　渡部充也

（死亡）おくやみ申し上げます。
横　通　石浦マツヨ（七十才）
栄　北地鐵夫（六十四才）
日の平　富永ハルヨ（八十六才）